

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)144号						
事業毎の通番		8	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	湯ノ平橋(ゆのたいらはし)					
事業概要	事業目的	当該路線は、群馬県長野原町と上田市を結び、上信越自動車道に直結する幹線道路であり、第1次緊急輸送路に指定されている。また、菅平高原や群馬県嬬恋村へのアクセス道路として、観光バスなど大型車交通量が多い状況にあるが、当該区間は幅員狭小、線形不良による正面衝突や追突事故が多発している状況にある。このため、抜本的解決策の早期実施が強く求められている。									
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法							
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：6,400台/日									
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.9	国庫	300,000	其他	180,000	県債	20,000	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=630m、W=6.5(9.0)m			500,000	300,000					
年度事業内容(主な工種)											
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 8億円 緊急輸送路(1次)の整備									
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進									
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：なし ○交通結節点アクセス：上信越自動車道 上田菅平IC アクセス ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(菅平高原) ○地域の活性化：スポーツ関連施設集積拠点(菅平高原)アクセス								評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：長野県総合5か年計画 事業着手 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(1次) ○地域指定：積雪地域(旧真田町)								評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.9 ○事業期間：5年(H27~H31) ○工法等の比較検討：設計VE実施(H23) ○他事業との連携：なし								評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：H23:3件、H24:1件、H25:4件 ○危険箇所対策：長寿命化修繕計画(架替対象:湯ノ平橋) ○歩道整備：歩道整備なし ○道路構造：最小半径50m								評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H25年に区長へ説明) ○地域の取り組み：協力的である(上田市長要望) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：住民関与が低い事業								評価	C
	部意見	事業の必要性、重要性は高いが、計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性、重要性が認められる。	評価結果	総合評価					A

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】	【状況写真】	
事業周辺環境	【平面図】		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は、上田菅平ICと菅平高原や群馬県嬬恋村を繋ぐ道路であり、観光バスや高原野菜を運ぶトラックなど大型車交通量が多い路線であるが、当該区間は、幅員狭小、線形不良(R=50m)区間であるため、正面衝突や追突等の事故が多発している。また、菅平高原の冬期の大型車通行規制が平成15,16年で解除されたことから、菅平高原から上田市街地までの間の唯一の交通ネック箇所となっている。このため、幅員の確保と急カーブの解消により、菅平高原の観光支援と安全で円滑な交通環境の確保を図る必要がある。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	上田市から毎年、改良要望が出されている。	
	③事業説明等の経緯	平成25年10月に地元役員へ事業の説明を実施	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県総合5か年計画(事業着手) 長野県地域防災計画(第1次 緊急輸送路)	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	耕作地への影響を最小限に留める路線計画を検討する。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により上田菅平ICと菅平高原を繋ぐによる道路の信頼性向上、災害時の緊急輸送機能の確保が図られ、交通の円滑化安全性の向上と共に両圏域の活性化が期待される。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 20' 35" 55 東経:E 36° 27' 41" 91	